

# 自彊前進

題字 西村直子

NO. 14 令和4年6月10日(金)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと  
(校歌3番の文言から)

## 社会の授業県政記念館で行われる

6月9日(木)の午後、3年1組の生徒を対象に、社会科の研究授業が行われました。県政記念館を授業会場として、授業が行われました。県政記念館は、白山公園の敷地にある洋館です。明治16年(1883年)に建てられ、昭和7年(1932年)まで50年余りこの場で県政が行われていました。生徒は、歴史の授業を通して、楠本正隆という第2代県令(現在の県知事)の開化政策に学び、人口減少等新潟市が抱える課題とその対応策について、議論し合うという大変貴重な経験をすることができました。

白山公園は、楠本正隆により造営された公園で、日本で最初に開設された都市公園のうちの一つであることは驚きです。当時は信濃川がすぐ近くを流れており、信濃川の川幅は今の3倍ほどあったと言われています。

信濃川の河口にある新潟市は、江戸時代日本で一番人口が多かった時期がありました。校歌の1番『新生日本に港市はあれど 欧亜をつらぬる直路はここと』『山なす積荷の千船ぞつどう』『文化の船つきわが新潟市』というのは、決して大げさではなく、当時は本当に栄えた港町だったのです。

そんな新潟市ですが、現在は人口減少に悩んでいます。Think Globally, Act Locally(世界を意識して、地域で行動する)ともThink Locally, Act Globallyとも言われます。今後に向け、あなたはふるさと新潟をどうしていきますか?



## 草刈りありがとうございました！



6月9日(木)に、ボランティアによるプール周辺の草取りが行われました。急なお願いであったにもかかわらず、多くの方々からご参加いただきました。晴天の中、附属新潟小学校のボランティアの皆様と一緒に、多くの草を刈っていただきました。おかげさまで、プール周りがとてもきれいになりました。本当にありがとうございました！来週には、新潟市体育大会があり、学校では教育実習生がプールを清掃してくれることになっています。あとは、プール開きを待つばかりです！